


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 8月 18日

所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村 弘仁

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
東京	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
丸の内キッズジャンボリー	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
2019年 8月 12日 ~ 2019年 8月 16日 (5日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
東京国際フォーラム	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。	
8月13日から15日にかけて行われた丸の内キッズジャンボリーにてユキヒョウのブースを展示・運営した。動物たちの能力が全体テーマであったため、ユキヒョウの跳躍力とカモフラージュ能力に関する展示を行なった。等身大のユキヒョウとジャンプ力を競う展示では、体験型の展示ということもあり、小学校低学年以下の子供たちを中心に楽しんでもらっていた。ユキヒョウの掌の大きさや跳躍力を実感してもらえたと思う。また、写真の中からユキヒョウを見つける展示は保護者も含めて全年齢層に楽しんでもらえた。野生動物を見つける難しさや、ユキヒョウという名前であっても実は雪の色ではないことを伝えることができた。一般の方々への普及啓発活動は研究の非常に重要な一側面であるため、今後のアウトリーチを考える上で非常に貴重な経験となった。	
図1:ユキヒョウブースの様子	
6. その他 (特記事項など)	